

Brown Bag Seminar

ブラウンバッグセミナー

録画期間限定公開
オンライン (Zoom)

2022.3.16 (水)



【技術支援】九州大学 Q-AOS & TEMDEC

登録はこちら

日 ← 同時通訳 → 英

12:10 ~ 12:50

- 12:10-12:15 ◆ 演者紹介
- 12:15-12:40 ◆ プレゼン
- 12:40-12:50 ◆ 質疑応答

https://temdec-med-kyushu-u-ac-jp.zoom.us/webinar/register/WN_JMO40XaPTF6iMI9GEWNzng

ODA 事業のつくられ方 ～変わらないこと、変わったこと～

司会: Scott Valentine 教授 (Q-AOS 研究推進ディレクター)

日本の政府開発援助 (ODA) 事業の形成は「要請主義」と言われ、協力相手国政府からの正式な「要請」を踏まえて実施するプロジェクトが決められています。そのプロセスは、長年のあいだそれ程大きくは変わっていません。一方で、日本の ODA を取り巻く環境はこの 20 年で変わってきているのも事実です。本セミナーでは、日本の ODA 事業 (主に技術協力案件) の形成のされ方について、講師の JICA の海外事務所での経験等を踏まえ、その概要と実際を紹介するとともに、近年の傾向についてお話しします。



高城 元生 特任教授

九州大学 国際戦略企画室

高城先生は、九州大学国際戦略企画室の特任教授です。1989年に北海道大学経済学部を卒業後、当時の国際協力事業団 (JICA) に入団。JICA本部での勤務後、ロンドン大学東洋アフリカ学院 (SOAS) で研修 (経済学修士)。その後、国際協力銀行 (JBIC) への出向等を経て、JICAインドネシア事務所主査、本部国内事業部予算課長、パキスタン事務所次長、JICA九州国際センター次長を務め、2020年4月から現職で九州大学の国際開発協力プロジェクトの形成や実施の支援等を行っています。専門分野はプロジェクトの計画・評価手法です。

